

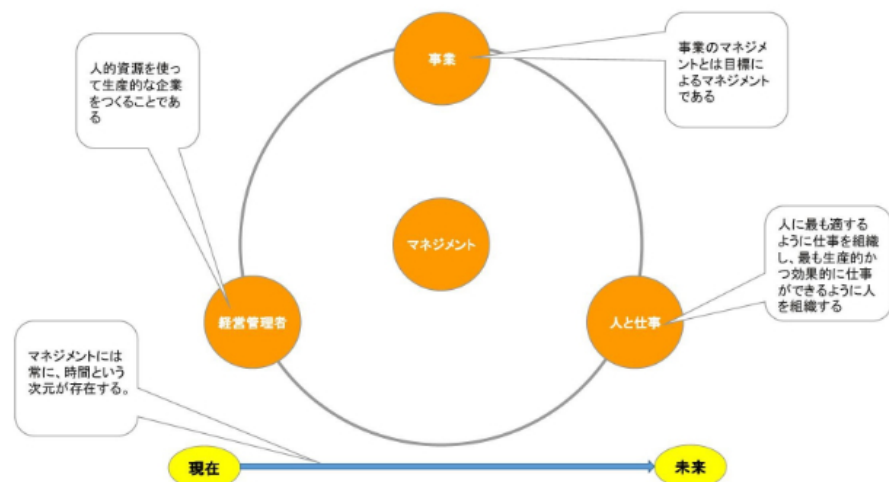
[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [現在と未来のマネジメント](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

現在と未来のマネジメント

マネジメントに関わる問題、決定、行動にはもうひとつの要素がある。マネジメントの第四の機能というより第四の次元というものである。すなわち時間である。マネジメントは常に、行動のための意思決定に関与している。そのためマネジメントには常に、時間という次元が存在する。その行動は常に、将来における成果を目標とする。単に知ることについてではなく、行動することについて責任を持つ者は、すべて未来に向かって行動する。しかし、企業のマネジメントにとって、時間という次元が特に重要であり、特に困難である理由は二つある。第一に、今日の経済と技術の特質は、それに関する決定が実を結び、その効果が確認されるまでの期間がますます長くなっていくことにある。第二に、企業のマネジメントは、そしておそらく企業のマネジメントだけが、常に現在と未来の双方を生きなければならぬからである。



事業のマネジメント、経営管理者のマネジメント、人と仕事のマネジメントというマネジメントの三つの機能は、それぞれ別個に分析し、研究し、評価することができる。しかも、それぞれの機能について現在と将来を区別することもできる。しかし日常の仕事の中で、マネジメントがそれら三つの機能を別個に扱うこともできないし、現在のための意思決定と将来のための意思決定を区別することもできない。これら三つの仕事は同時に行われるし、一つの決定のうちに常に三つの仕事が含まれる。このことこそが経営管理者に特有の状況である。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

傾聴

>>一覧へ戻る

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ

🔍 このサイトについて

🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE

静岡で働く人のための資料閲覧サイト
【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.